

東永谷中だより

～自ら学び 共に学び 心かよう東永谷～



横浜市立東永谷中学校

横浜市港南区東永谷2-14-7

TEL 045-823-9901 FAX 045-826-3113

令和5年 12月号

『個別支援学級の宿泊学習を共にして』

校長 青木 照美

11月8日(水)9日(木)と港南区9校の中学校の個別支援学級に在籍する生徒、先生総勢173名で三浦にあるYMCAグローバル・エコ・ビレッジにおいて一泊の宿泊学習が行われました。ここ3年間は、コロナ禍で実施ができなかったのですが、今年度は実施することができました。私は、初めて参加したのですが、感動することがとても多くあり、ぜひ、みなさんにも知ってほしいとの思いから今回の学校便りに書かせてもらうことにしました。

本校の場合、校外学習の一つである宿泊学習は、2年生での自然教室、3年生での修学旅行があります。この校外学習にも個別支援学級の生徒達はもちろん参加します。その中で、学ぶことも多いのですが、今回の宿泊学習は、個別支援学級のみで、しかも他の学校の生徒達とも一緒なので普段、生活を共にしていない生徒たちと2日間生活します。ですので、コミュニケーションの力をつける上でも大事な行事です。

上大岡の駅に集合して、京急で三浦海岸まで行き、そこからバスで宿泊施設まで行きました。当然、大きな荷物も自分で持ちながら歩きます。とても良いお天気でしたので、海を眺めながら、青空のもと、楽しくお昼をいただきました。そして、入村式です。本校の S さんが「誓いの言葉」を173名の前で堂々と大きな声で発表し、次は、他の学校との交流のレクです。司会もレクの説明も全部、生徒達で行います。普段の生活では、大勢の人の前で話すことが少ない個別級の生徒達ですが、本校で考えたジェスチャーゲームを個別級みんなで説明をし、とても立派でした。次に、浜辺に行き、ビーチフラッグのレク、思いっきり砂浜を走ります。海がキラキラと輝いて、みんなの笑顔が照らされます。そして、笑い声が響きわたり平和を感じた時間でした。

その後は、体育館でドッジボール。あいにくTさんは足をくじいてしまいましたが、痛みを我慢し、翌朝までがんばったのです。足が痛むはずなのに、弱音を吐くことなく、友達と楽しみ、自分の決めたことは最後までやりきったTさんを、私は、強くて頑張り屋だと心の底から感心しました。そして、学校生活だけではわからない彼女の真面目さ、一生懸命さを感じることができました。立派です。

レクが終わった後は、夕食の時間です。配膳の準備も全部自分達で行います。普段、好き嫌いが多いKさんMさんも苦手な野菜を全て食べました。食器の片づけも自分達で行います。それから、キャンドルファイヤーです。基本、食事やレクは、行動班として上永谷中、芹が谷中の3つのブロックの生徒達で作られているグループで活動します。普段一緒に生活をしてない人達と仲良く協力しながらコミュニケーションをとって活動することも凄いことだなと思いました。キャンドルファイヤーでの楽しい時間もあっという間に終わりました。もちろん、司会進行も全て、生徒達で行っていました。その後は、入浴をして就寝準備、そして就寝。翌朝も忙しく、朝の会や朝食の準備、荷物の整理、シーツの片づけ、部屋の掃除を行い、最後に参加者全員でレクをしました。最後のダンスは、大いに盛り上がりました。もちろん、これらのことは全て自分たちで行います。正直、私は、様々な面での支援が必要ではないのかと思っていました。しかし、とんでもありません。自分の荷物の整理や着替え、ベツトメイキング、掃除、様々な会の運営、全て自分達でやりとげることができるんだということを思い知らされ、本当に自分自身が情けなく、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。自分のことは自分です。自立していく上でとても大切なことです。個別支援級の生徒達は、それがしっかりできます。いろいろな意味において支援が必要なこと、助けが必要なことは誰でもあります。できないこと、苦手なことは誰にでもあります。それを助け合い、励まし合っていくのが、人間が生きていく上で必要なのではないのでしょうか。誰もが仲良く助け合う東永谷中の生徒達であってほしいと心から願います。

最後に、おにぎりを今まで食べることができなかったKさんが2日目昼食のおにぎり弁当を食べている姿を見て、涙がでてきてしまいました。

港南区個別支援学級合同宿泊学習 11月8日(水)～9日(木)

三浦YMCAエコビレッジにて「港南区個別支援級合同宿泊学習」が行われました。この日に向けて、7月と10月に港南区の個別支援学級の生徒と交流を行い、各班や目標を決めたり宿泊で行うレクの事前準備をしたりと、さまざまな活動をしてきました。今回の宿泊学習は生徒たちにとって楽しみと不安が入り混じったものであったと思います。そんな中でも「協力して楽しく過ごす」「自立した生活をし、身の回りのことを自分でする」などの目標を意識し、積極的にいろいろな輪の中に飛び込んでいこうとする生徒や、苦手なものに挑戦する生徒がいました。また、ドキドキしながらも周りの何人かと親睦を深めようとする生徒もいました。それぞれが目標に向かい自分のできることを最大限に行えた宿泊学習だと感じています。何事にも全力を発揮することは簡単なことではないと思います。そうした中、最大限頑張っていた生徒の姿にはとても感動しました。今後も様々な行事が控えています。その一つ一つに今回のように全力で向かってほしいです。

(個別支援級担任 赤荻 弘介 教諭)



第2学年 キャリア学習

11月9日(木)に一日を通してキャリア学習を行いました。2校時にはビジネスマナー講座を行い、日頃実践している挨拶や身だしなみの管理などが、社会人としての基本マナーであるということを学びました。3、4校時は講師の方々にご来校いただき、ライフキャリアについて学ばせていただきました。人生すごろくやペアワークなどを通して、楽しみながら理想の未来を思い描くことができました。5、6校時には荒木先生による進路説明会でした。来年の受験に向けて、中学校卒業後の進路や受験制度についてなどの情報を蓄えることができました。これからの長い人生を辿っていくことを踏まえ、理想の未来に近づくため中学生である自分に「今できることは何か」を考えられた一日となりました。(2学年職員 岡部 陸 教諭)



明会でした。来年の受験に向けて、中学校卒業後の進路や受験制度についてなどの情報を蓄えることができました。これからの長い人生を辿っていくことを踏まえ、理想の未来に近づくため中学生である自分に「今できることは何か」を考えられた一日となりました。(2学年職員 岡部 陸 教諭)

東中杯～P・K 合戦～ (11月末～12月末)

今年も「絆を深め、団結する」「多学年との交流を深める」というめあてのもと、東中杯(クラス対抗、7人ずつでのPK合戦)を行っています。「学年の垣根を越えて楽しめるものにしよう」という思いから、生徒会がルールを決め、大会を開催しています。クラス代表の一蹴りに各クラスが一喜一憂する姿が煌めいています。生徒の明るい笑顔と歓声が校庭いっぱいに広がり、大いに盛り上がっています。毎日昼休みに行う試合は12月末まで続きます。今年は何のクラスが勝ち抜くのでしょうか。生徒会本部が中心となって大会運営を行い、学級委員がクラスでのメンバー決めなどを行っています。生徒たちで企画・運営する姿に「自治の精神」を感じます。2026W杯予選とともに、東中杯はこれからも盛り上がり続けます。

級委員がクラスでのメンバー決めなどを行っています。生徒たちで企画・運営する姿に「自治の精神」を感じます。2026W杯予選とともに、東中杯はこれからも盛り上がり続けます。

(生徒会担当 石田 義明 教諭)



北村年子さんによる「人権講演会」 11月28日(火)

ノンフィクションライター、ラジオパーソナリティとしてご活躍され、自己尊重ラボ Love Myself 代表、ホームレス問題の授業づくり全国ネット代表理事であられる北村年子さんをお迎えして、人権講演会を行いました。

事前に DVD『「ホームレス」と出会う子どもたち』を鑑賞した生徒たちからの質問を温かく受け止めてお話をしてくださり、ご自身の経験から「命を救いたい」と思われたお話は、私たちの心に深く響きました。その上で話された自己尊重感(自尊感情)について説明してくださいました。自分を好きになる、自分を肯定する、自分を大切にすること、自分を愛する、自分を認める、自分を受け入れるなどの語り掛けは、生徒たちの感想からもわかるように、心に染みていくお言葉でした。HOMEとは安心できる場所、友達や家族がいること、生きていることのありがたさを感じましたと多くの生徒たちが感じ取りました。様々なことに感謝して、自分と隣の人へ向けて生きていてくれて「ありがとう」と心の中で拍手を送りましょう。



避難訓練 と オハナ上永谷保育園避難訓練



11月27日(月)、火災を想定した避難訓練を時間を問わず授業中に行いました。慌てることなく全員が落ち着いて素早く避難ができて立派であったこと、火災予防の重要性を、校長から生徒へ伝えました。また、14日にはオハナ上永谷保育園の職員・園児たちが防災拠点避難場所になっている本校へ避難する訓練を行いました。

読書週間 ReadingWeek 2023 ・ 寒い日には心温まる本を！



読書週間のイベント「東中リーディングウィーク」を開催中です。毎年恒例の、図書委員の手作りのしおりや賞品がもらえるスタンプラリーを行っています。

心温まる本を探すときに、かなり確実な方法があります。それは、入試問題によく出題される小説から選ぶということ。毎年、多くの都道府

県の公立高校入試で出題された本を図書室に入れるようにしていますが、これが本当に「読んでよかった…」としみじみ思う本ばかりなのです。派手な展開はないけれど、登場人物のちょっとした心の動きや優しさに心打たれて、自然に涙が流れて、「世の中捨てたもんじゃない」という気にさせてくれた上に、「こういうレベルの文章が高校入試に出るのか」という学びまである素敵な本たち。その中から、特におすすめしたい2冊を紹介します。どちらも読み終わったときに、心が洗われるようでした。

『駒音高く』 佐川光晴/作・実業之日本社 【913/さ】

2020年度 5つの県で出題

『水野瀬高校放送部の四つの声』 青谷真未/作・早川書房

【913/あ】 2022年度 神奈川県を含む3つの都県で出題



(学校司書 小西文恵)

東中祭 文化の部(展示発表) と 学校を開く週間

東中祭文化の部(展示発表)を12月4日(月)～8日(金)の5日間で実施しています。期間中、教科や委員会、学年、行事、部活動、PTA など様々な団体の作品等を展示しています。生徒は、クラスごとに設定された時間や休み時間、放課後に見学をし、それぞれの取組内容を鑑賞します。保護者面談の実施期間でもあり、多くの保護者、地域の皆様にご観覧いただければ幸いです。日頃の生徒の取組の成果や頑張りを少しでもお伝えすることができれば嬉しいです。

同期間、学校を開く週間になっております。午前中にお越しの方は職員玄関からお入りいただき、受付簿へご記名ください。午後にお越しの方は生徒昇降口から入場ください。皆様のお越しをお待ちしております。

↓PTA 各委員会の皆様が充実した掲示を制作されました



11月14日 全校集会 3学年主任の話

14日に行われた全校集会での、3学年の糸井学年主任からの講話は、生活スタンダードについてでした。3つの内容を知っているかとの主任の声掛けに、生活福祉副委員長が手を挙げ、「すすんであいさつをすること」「時間を守る」「人の話を聞く」としっかりと答えてくれました。あいさつについては、いつ、だれと、何のあいさつがあるのか。全校に、またはクラス、個別にあいさつなのか、その状況や挨拶の種類について考えるひと時になりました。年末年始は「ご挨拶」が多い時期です。心を込めて挨拶をいたしましょう。

スクールカウンセラー一年末年始の予定と予約電話番号

★12月6日(水)、13日(水)、20日(水) ※1月以降の予定は「カウンセラーだより」をご覧ください。

★9:20～16:00の間

予約電話番号：(カウンセラー直通) 045-823-9920(水曜以外は留守電)

(東永谷中学校・担当:生徒指導専任) 045-823-9901

※上記どちらの番号でも予約可能です。

●冬季休業期間● 令和5年12月26日(火)～令和6年1月5日(金) 【25日(月)代休】

☎留守番電話設定時間(17:00～翌8:30)

●学校閉庁期間● 令和5年12月28日(木)～令和6年1月4日(木)

☎終日留守番電話設定

ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

9日(火) 全校集会
書初め展(10日～29日)

11日(木) 2年百人一首大会
専門委員会

12日(金) 1年百人一首大会
生徒協議会

17日(水) 区個別級合同学芸会(港南公会堂)

19日(金) 授業参観

<1月の予定>

